

一般社団法人 日本生態学会

2019年度 第4回通常理事会

1. 日時：2020年2月1日（土）13:00～17:00
2. 場所：東北大学東京分室 会議室B
3. 出席者：
 - ・理事会構成員（20名・定足数10名以上）
（理事）占部城太郎、湯本貴和、永松大、三木健、黒川紘子、吉田丈人、内海俊介（Web参加）、大澤剛士、鈴木まほろ（Web参加）、陶山佳久、東樹宏和（Web参加）、丑丸敦史、西廣淳、宮下直、可知直毅（全理事中15名参加）
 - （欠席理事）中川弥智子、久米篤、巖佐庸、佐竹暁子、中野伸一
 - ・監事：粕谷英一、陀安一郎
 - ・オブザーバー：永光輝義、吉田正人
 - ・事務局：鈴木晶子
4. 議事概要：

定足数10名を超える15名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款第42条に従い占部城太郎会長を議長として議事を進行した。議事録署名者は、定款第46条に則り、占部城太郎会長、粕谷英一監事、陀安一郎監事とし、議事録作成者は永松大理事が担当することとした。

報告事項

1. 事務局報告（庶務・会計）
 - ・ 資料1（庶務報告・会計報告）に基づいて永松専務理事より理事会より推薦された日本生態学会功労賞候補者3名が代議員に承認され受賞決定となった（1月6日）こと、日本学術会議の会員・連携会員の候補者に関する情報提供を行った（1月17日）こと、2019年度の会計監査が学会事務局で行なわれ会計は適正と確認された（1月25日）こと等、庶務3件、会計9件の報告があった。
 - ・ 2019年会員数は一般会員が昨年とほぼ同じで学生会員が増えていこと、一般・学生会員共に年間100名ほど退会者がいるとの報告があった。
2. Ecological Research 編集委員会報告
 - ・ 別紙資料に基づいて陶山編集長より Copy Editor の就任、ER 論文賞審査進捗状況、Data Paper から Data Descriptor への移行、大会期間の ER フォーラムの報告があった。
3. 英文誌3誌運営状況報告
 - ・ 資料2に基づいて陶山 ER 編集長より Wiley1年目の出版状況は良好であ

ること、外国人雇用を検討していること、生態学会定款・規約の英訳作業を英文誌編集部で行うこと、大会で ER 関係の英文ツイッター発信を行う予定であることが報告された。

4. 日本生態学会誌編集委員会報告

- ・ 資料 3 に基づいて永光編集長より次号の目次、編集状況、審査状況、刊行状況の報告があった。

5. 保全生態学研究編集委員会報告

- ・ 資料 4 に基づいて西廣理事より現編集委員で不足する分野の新編集委員補充について説明があった。

6. 大会準備状況報告

- ・ 内海大会企画委員長より 1 月 25 日に実行委員会が開かれたこと、名古屋大会準備は順調に進んでいること、大会参加約 1400 名、懇親会 300 名の事前申込みがあったこと、企業協賛について受付期限後の掲載・出展希望が数件あったため次回の申し送り事項とすることが報告された
- ・ 大会企画委員会で内規を作成していること、大会ウェブサイトにはバナー広告掲載の希望があったが今回は見送り次回以降の募集を検討することが報告された。

7. 学術会議報告

- ・ 吉田理事より生態科学分科会で公開シンポ開催予定があること、マスタープランが公開されたことが報告された。

8. 各種委員会報告（キャリア支援）

- ・ 資料 5 に基づいて宮下理事より会員動向分析ワーキンググループの会員動向データ解析中間報告があった。
- ・ 順調に解析しているが、結果が 1 年でまとまらないためワーキンググループの次期継続希望があった。
- ・ 他学会で会員数が減少する中で生態学会は会員数が増えていること、会員数のわりに大会参加者が多いとの報告があった。

9. 監査報告

- ・ 資料 6 に基づいて陀安監事より 2019 年の監査報告があり、事業計画、計算書類、付属明細書、その他理事の職務遂行の監査について適正になされていたとの報告があった。

10. INTECOL、EAFES 報告

- ・ EAFES について占部会長より 6 月フフホト開催の大会ウェブサイトが公

開されたと報告があった。

- ・ INTECOL について占部会長より現在役員の改選で本学会が推薦した会員が新役員になる新役員になる見込みであるとの報告があった。

審議事項

第 1 号議案 大会開催地（九州）について

- ・ 資料 7 に基づいて粕谷監事より説明があり、第 69 回大会を 2022 年 3 月に福岡国際会議場で開催することが全会一致で承認された。

第 2 号議案 大会開催地区会（東北）について

- ・ 資料 7 に基づいて占部会長より説明があり、第 70 回大会を 2023 年東北地区で開催することが全会一致で承認された。

第 3 号議案 2019 年度決算案について

- ・ 資料 8 に基づいて黒川会計担当理事より説明があり 2019 年決算案が全会一致で承認された。

第 4 号議案 2020 年度予算案について

- ・ 資料 9 に基づいて黒川会計担当理事より説明があり 2020 年予算案が全会一致で承認された。

第 5 号議案 役員選任について

- ・ 湯本副会長より別紙資料に基づいて 3 月総会後に発足する理事会の新理事候補提案があり、理事会推薦の候補者とするのが全会一致で承認された。

第 6 号議案 委員会からの審議事項

- ・ ER 論文賞について ER 編集委員会からの受賞候補を理事会に提案し、意見分布をみた上で受賞の決定を会長一任とすることが全会一致で承認された。
- ・ 資料 4 に基づいて西廣理事より保全誌編集委員 3 名補充の提案があり全会一致で承認された。3 名の任期は現在の委員と合わせる。
- ・ 資料 10 に基づいて西廣理事より 2020 年 4 月からの生態系管理委員会体制の提案があり全会一致で承認された。
- ・ 資料 10 に基づいて内海理事より 2020 年 4 月からの大会企画委員次期委員長・副委員長の提案があり全会一致で承認された。
- ・ 資料 10 に基づいて丑丸理事より 2020 年 4 月からの生態学教育専門委員の提案があり全会一致で承認された。
- ・ 資料 10 に基づいて吉田委員より 2020 年 4 月からの自然保護専門委員長・幹事の提案があり全会一致で承認された。
- ・ 宮下理事より 2020 年 4 月からのキャリア支援専門委員長として上野祐介

氏、副委員長木村恵氏、鈴木牧氏の提案があり全会一致で承認された。

第7号議案 名誉会員推薦について

- ・ 資料 11 に基づいて占部会長より説明があり、廣瀬忠樹氏、和田英太郎氏、重定南奈子氏を名誉会員に推薦することが全会一致で承認された。

第8号議案 感謝状贈呈について

- ・ 資料 12 に基づいて占部会長より説明があり、信沢孝一氏（共立出版株式会社）への感謝状贈呈が全会一致で承認された

第9号議案 自然保護専門委員会より要望書提出について

- ・ 資料 13 に基づいて吉田自然保護専門委員長より説明があり、要望書は他団体と連名でなく生態学会単独提出とし、学会名での提出を総会審議に諮ることが全会一致で承認された。

第10号議案 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定

- ・ 資料 14 に基づいて占部会長より説明があり全会一致で承認された。

その他

1. G Suite の導入検討報告

- ・ 資料 15 に基づいて大澤理事より説明があり、学会サーバで運用しているメールとデータ共有について G suite を今年 4 月以降に導入できるように準備を進めることになった。

2. 個人情報管理規則の変更について

- ・ 三木理事より個人情報保護規則の改定作業の進捗状況報告があった。

閉会：以上の議事を終え、17時に閉会した。

上記の決議を明確にするため、会長、監事がこれに記名押印する。

2020年2月1日

会 長 ： 占部 城太郎 ⑩

監 事 ： 粕谷 英一 ⑩

陀安 一郎 ⑩